

WUCO2024 報告書

名古屋大学大学院修士2年 近藤花保

○はじめに

2024年8月1～5日にかけて行われた世界大学オリエンテーリング選手権(WUCO)に出場しました名古屋大学大学院修士2年の近藤です。大会ではスプリント・スプリントリレー・ミドル・ミドルリレーに参加しました。本報告書ではレースの振り返りと総括を記述します。

○レースの振り返り

1. スプリント

47位/114人 14'17 (+2'03)

今年はスプリントを中心に練習を行っており、十分な対策(Googleマップのストリートビューや旧図の読み込み)、トレーニングを積んでレースに臨んだ。しかし中盤にミスしそうだと注意していた叉路でナビゲーションミスをしてしまい、その後ミスを取り返そうとペースを崩してしまい結果的に終盤まで体力を持たせることができず47位でフィニッシュした。目標にしていた30位以内を達成することができず悔しさが残る。レースで決め切る力のなさを実感した。

2. スプリントリレー

11位/24国 55'05 (+4'07) /1走 13'17 (近藤—二俣—本庄—桑原)

前回のWUCOスプリントリレーの成績(10位)に迫るために、先頭集団で帰ってくることを目標としレースに臨んだ。スプリント個人での反省を活かし、レース中は淡々とペースを崩すことなくこなし集団に上手く入り込み、10位という好位置でチェンジオーバーできた。結果は11位で、個人としてもチームとしても満足できるタイム・順位であった。メンバーが入れ替わってもなお前回と同等の好成績を出すことができ、日本の学生スプリントレベルが良い状態で維持できていることを示せたと感じている。

3. ミドル

67位/114人 46'22 (+15'39)

レースをまとめられず無力感が残る結果となった。序盤から細かなアタックミスを繰り返しリズムに乗れず、修正できないままフィニッシュした。レースでやることを決めきっていないまま臨んでしまった結果だと認識していて、準備不足の一言に尽きる。海外選手と戦う土俵に立てていなかった。

4. ミドルリレー

16位/22国 2'01'54 (+34'28) /3走 44'22 (柴崎—松本—近藤)

ミドル同様まとめられなかった悔しさが残る。3箇所ほど2～3分のミスをしてしまったことはもちろん、フォレストを走る体力も足りなかった。1走の柴崎選手が好タイムで流れを作ってくれた分、後ろでそれを維持することができず申し訳ない。

○総括

準備が十分にできていたスプリントではそれなりのレースが出来ましたが、そうでなかったフォレストでは海外選手に挑む土台が出来ておらず、無力感の残る結果になりました。世界選手権との連戦で短い調整期間でしたが、その中でももう少し目的意識を持って取り組められれば結果は違ったと思います。準備の面で反省する点が多い大会となりました。再び国際大会に挑戦する機会があれば、今回感じた実力不足、無力感を無くすためにはどうすればいいか、しっかり考えながらトレーニング・対策に取り組みたいです。

最後になりますが、出場にあたりサポートいただいた関係者の皆様、オフィシャルの桑さん宮本さん、そして応援して下さった皆様に感謝申し上げます。